

中一入試（学力検査）について



< 4 教科の傾向と対策 >

国語

話す力、聞く力、読む力、書く力、そして、漢字や言葉の語彙に関する知識理解という5つの領域の力がしっかりと身についているかどうかを問う問題を、幅広く、バランス良く出題します。例年大問は2題です。1題は、長文です。内容は、文学的文章であったり説明的文章であったりします。もう1題は、具体的な学習活動の場面を設定した問題を出題しています。国語の力をどのように発揮するのかという活用力を問う問題を出題する予定です。国語のテスト対策としては、2点です。小学校での日頃の国語の授業をしっかりと受けること。もう一つは、筆記試験になれるためにも、多くの国語の問題を解いてくることです。

社会

例年、3～5年生で学習する地理的な内容、6年生で学習する政治的な内容と歴史的な内容からバランスよく出題しています。これらの学習について、教科書に載っている語句の意味を理解することに留まらず、それらに関連して掲載されているグラフや表、図、写真、年表などの様々な資料から情報を読み取ることができるようにすることが大切です。ただ単に語句を「覚えている」「知っている」といった段階で終わるのではなく、さまざまな資料と社会科で学ぶ内容との関連について説明したり、自分自身の考えを論述できる学習をしていくことが大切です。

中一入試（学力検査）について



< 4 教科の傾向と対策 >

理科

各学年で学習した内容を出題しています。これまでに行った観察や実験の方法，その結果を振り返るようにしてください。また，実験結果として示されているグラフもその意味をもう一度確認してください。実験以外では，教科書に示されている重要語句を振り返ってみましょう。語句の意味が理解できることによって，問題文の意味も読み取りやすくなります。さらに，教科書に示されている図表を見直しておきましょう。入試対策としては，1冊の問題集を繰り返すこと。できなかった問題を1つずつ克服しておくことが大切です。

算数

例年，25分間で10問出題し，教科書に掲載されている問題の難易度を基本としています。毎年計算問題を2問出題しています。分数や小数を含む複雑な式の計算を出題しますので，素早く正確に計算する技能を身につけてください。問題は「数と計算・図形・変化と関係・データの活用」の4領域から幅広く出題しますので，バランスよく勉強することをおすすめします。また，答えを求める問題の他に，思考力・判断力・思考力などを問う問題も出題しています。問題に取り組む際は，問題を解くだけでなく，問題の本質を理解したり，式などの過程を重視したり，違う方法で解いてみたり，工夫して勉強することが大切です。

中一入試（作文）について



< 作文の主題 >

令和5年度	「個性について」
令和4年度	「未来について」
令和3年度	「私の興味や関心」